

地震



地震に備えよう 一家の中の安全対策

❖ 地震から身を守るために

室内の家具が倒れ、家具が出入口をふさいで、避難できなくなることがあります。家具を固定するなどの安全対策をしましょう。

●食器棚

扉が開かないよう金具をつけ、扉が開いても中の食器が飛び出すのを防ぐ。

●照明器具

1本のコードでつるすタイプのものは、鎖と金具で3か所以上留める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで留めておく。直付けタイプがより安全。

●住宅用火災警報器

煙や熱を感知すると警報音で知らせてくれる。消防法改正により家庭でも設置が義務付けられた(東海市火災予防条例では、寝室・階段などに設置義務)。

●窓ガラス

飛散防止フィルムを屋内側に貼る。

●カーテン

防災加工されたものを使う。

●本棚・タンスなど

なるべく壁面に接近させておき、上部をL字型金具で固定するか、家具の下に板などをはさみ、壁面にもたれさせる。
二段重ねの場合は、つなぎ目を金具で連結する。

●テレビ

できるだけ低い位置に置き、金具やロープ、装着マットなどで下面・柱・壁に固定する。

●暖房器具

ストーブなどの暖房器具は、対震自動消火装置のあるものかどうか確認する。

Point

家の中の安全対策ポイント

1 家の中に、家具のない安全なスペースを確保する



2 出入口や通路にはものを置かない



3 寝室や子ども・高齢者・障がい者がいる部屋には、倒れそうな家具を置かない



4 家具の転倒や落下を防止する対策を講じる



❖ 地震が起こったときの行動

Point

命を守る行動「シェイクアウト」

「シェイクアウト」は、地震の際に安全を確保して命を守る動作です。

- ①姿勢を低くする
 - ②頭・体を守る
 - ③じっとする
- という3つの動きを身につけましょう。



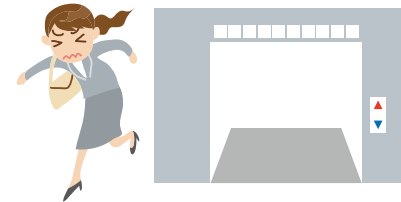
自宅で屋内にいるとき

- ・家具の転倒や落下物から身を守るため、頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。
- ・慌てて外に飛び出さない。
- ・料理や暖房などで火を使っている場合、その場で火を消せるときは火を消し、火元から離れているときは無理に火を消しに行かない。
- ・扉を開けて避難ルートを確保する。



エレベーターに乗っているとき

- ・最寄りの階で停止させて、すぐに降りる。



鉄道・バスに乗っているとき

- ・つり革や手すりにしっかりつかまる。

山やがけ付近にいるとき

- ・落石やがけ崩れに注意し、できるだけその場から離れる。

人が大勢いる施設にいるとき

- ・頭を保護し、揺れに備えて安全な姿勢をとる。
- ・つり下がっている照明などの下から退避する。
- ・慌てずに施設の係員などの指示に従い、避難する。
- ・慌てて出口や階段に殺到しない。



屋外にいるとき

- ・ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる。
- ・建物の壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる。

自動車を運転しているとき

- ・後続の運転手が緊急地震速報を聞いているとは限らないため、自動車運転中は、慌てて急ハンドルや急ブレーキをかけない。
- ・緩やかに速度を落とし、ハザードランプを点灯して周りの車に注意を促し、道路の左側に停車する。